

会計名			子ども会助成事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					担当係	中央児童館	
3	2	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	刈谷市子ども会育成連絡協議会に所属する地域の子ども会を補助することで、より活発な活動を促進するとともに、児童の健全育成を図る。	主たる内容	市内の単位子ども会(50人まで)ごとに子ども会活動費13,000円を補助する。また、会員数が50人を超えた単位子ども会には、13,000円に120円×超えた人数を加算する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令	児童福祉法						
		対象者	子ども会	事業期間	昭和36年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		子ども会活動費を補助することにより、子どもたちの健全な育成の機会として多くの子ども会行事の開催を支援した。		子ども会活動費を補助することにより、子どもたちの健全な育成の機会として多くの子ども会行事の開催を支援した。		子ども会活動費を補助することにより、子どもたちの健全な育成の機会として多くの子ども会行事の開催を支援した。		子ども会活動費を補助することにより、子どもたちの健全な育成の機会として多くの子ども会行事の開催を支援する。	
成果 (できたこと)		市内の単位子ども会に活動費補助金を交付し、地域の子どもの健全育成を支援することができた。							
課題 (できなかったこと)		子ども会会員数の減少及び単位子ども会の解散がみられるため、会員数の維持、増加を図る必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		単位子ども会数(団体)			118	116	109	108	108
成果指標		子ども会会員数(人)			5,450	5,170	4,608	4,650	4,650
他市との比較検証		安城市：125団体、8,317人 高浜市：11団体、516人 知立市：32団体、2,084人 碧南市：26団体、3,355人 (平成24年4月1日現在)							
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		1,622	1,584	1,495	1,740	合計 1,494,520円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,494,520円		
		一般財源	1,622	1,584	1,495	1,740			
	職員人件費②		3,624	3,589	3,891	4,053			
	総事業費(①+②)		5,246	5,173	5,386	5,793			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			中央児童館管理事業				担当部	次世代育成部			
一般会計							担当課	中央児童館			
款	項	目					担当係	中央児童館			
3	2	4									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	次世代育成・子育て支援								
		施策の内容	子どもの居場所づくり								
	目的	中央児童館の適切かつ効率的な運営を図るため、施設の維持管理を行う。			主たる内容	中央児童館の施設機能を維持するため、各種点検や清掃、保守管理、警備委託等を実施する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画								
			根拠法令	児童福祉法							
		対象者	児童・保護者		事業期間	昭和56年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画			
		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行った。		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行った。		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行った。		中央児童館の施設全般の維持管理を適切に行う。			
成果 (できたこと)		中央児童館の施設を維持管理することにより、利用者に児童厚生施設として適切なサービスを提供することができた。									
課題 (できなかったこと)		(仮称) 夢と学びの科学体験館の整備工事に向けて、工事期間中の委託業務の見直しを図る必要がある。									
指標名称(単位)				実績値			目標値				
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
活動指標		中央児童館開館日数(日)			308	307	308	308	307		
成果指標		中央児童館利用者数(人)			85,992	87,925	85,090	88,000	100,000		
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位:千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳			
	事業費①		11,575	12,251	11,690	12,801	合計	11,689,691円			
	財源	特定財源	264	255	251	214	需用費	4,564,972円			
		一般財源	11,311	11,996	11,439	12,587	役務費	229,503円			
	職員人件費②		0	7,178	4,598	4,053	委託料	5,404,244円			
	総事業費(①+②)		11,575	19,429	16,288	16,854	使用料及び賃借料	1,490,972円			
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称					
		24年度迄の累積事業費		0		行政財産目的外使用料 電話料実費徴収金					
26年度以降の事業費見込		0									

会計名			担当部				次世代育成部		
一般会計			担当課				中央児童館		
款	項	目	担当係				中央児童館		
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	一つ木児童館を適切に管理・運営をすることにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。			主たる内容	一つ木児童館の指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、地域児童館の管理・運営を行う。 開設場所 一つ木福祉センター内			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン						
		対象者	児童・保護者		事業期間	平成10年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
成果 (できたこと)		指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、一つ木児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることができた。							
課題 (できなかったこと)		一つ木児童クラブ移転後の利用者数の減小を抑えるため、これまで以上に魅力的な児童館の運営に努める必要がある。							
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		一つ木児童館開館日数(日)			308	309	307	308	309
成果指標		一つ木児童館利用者数(児童クラブを除く)(人)			11,228	11,022	15,585	16,600	17,000
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位:千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		3,900	4,309	8,036	8,018	合計	8,036,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	8,036,000円	
		一般財源	3,900	4,309	8,036	8,018			
	職員人件費②		2,175	2,512	1,768	1,842			
	総事業費(①+②)		6,075	6,821	9,804	9,860			
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		24年度特定財源名称			
		24年度迄の累積事業費		0					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			なののはな児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					担当係	中央児童館	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	地域の児童館として、なののはな児童館を適切に管理・運営することにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。		主たる内容	なののはな児童館の指定管理管理者として市川商事株式会社を指定し、地域児童館の適切な管理運営を行う。 開設場所 老人デイサービスセンターなののはな2階				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン						
		対象者	児童・保護者	事業期間	平成23年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
				子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
成果 (できたこと)		指定管理者として市川商事㈱を指定し、なののはな児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにした。							
課題 (できなかったこと)		平成24年度に引き続き、新しい行事を展開し魅力的な児童館の運営に努めること。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		なののはな児童館開館日数(日)		—	309	307	308	309	
成果指標		なののはな児童館利用者数(人)		—	7,154	8,593	9,000	10,000	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		0	5,147	4,043	4,054	合計	4,043,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,043,000円	
		一般財源	0	5,147	4,043	4,054			
	職員人件費②		0	2,512	1,768	1,842			
	総事業費(①+②)		0	7,659	5,811	5,896			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
		24年度迄の累積事業費		0					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			プラネタリウム管理運営事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	中央児童館		
款	項	目					担当係	中央児童館		
3	2	4								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	プラネタリウムの保守管理業務及び番組制作を行い、一般投映・学習投映を実施することにより、子どもたちの星や宇宙への関心を高める。	主たる内容	プラネタリウムの性能を維持するため定期的に保守管理を行う。 番組の制作については、刈谷市教育研究会のプラネタリウム教材開発委員会に委託して、一般投映番組と学習投映番組を制作して投映する。						
	位置づけ	関連計画		刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和56年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の更新		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の一部改訂		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の一部改訂		一般投映（季節の投映） 学習投映（幼稚園、保育園年長・小学4年生・中学1年生） 一般投映用番組の制作 学習投映用番組の一部改訂		
成果 (できたこと)		一般投映を通して、市民の星や宇宙への関心を高めることができた。 学習投映を通して、児童・生徒の星や宇宙についての理解を深めるとともに関心を高めることができた。								
課題 (できなかったこと)		プラネタリウム機器更新後の番組制作や投映方法について具体的な方策を立てる必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
活動指標	プラネタリウム投映回数（回）		376	386	379	376	800			
成果指標	プラネタリウム入場者数（人）		28,140	30,973	30,629	30,700	52,000			
他市との比較検証	愛知県内11施設中、2番目に古いプラネタリウム機器である。 入場者数 豊田60,300人 安城17,239人(平成24年度)									
C 事業コスト V	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳			
	事業費 ①		10,698	10,171	8,987	10,377	合計	8,987,200 円		
	財源	特定財源	531	594	596	420	需用費	378,000 円		
		一般財源	10,167	9,577	8,391	9,957	委託料	3,435,850 円		
	職員人件費 ②		12,322	9,332	7,428	7,738	使用料及び賃借料	5,173,350 円		
	総事業費 (①+②)		23,020	19,503	16,415	18,115				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			はばたき子どもまつり事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					担当係	中央児童館	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	子ども同士や親子間での交流の機会を作りふれあいを深めるため、はばたき子どもまつりを開催し、健全な遊びを通して、児童の健康を増進し、また情操を豊かにする。	主たる内容	中央児童館の全館を使って、人形劇・ふれあい動物広場・プラバンキーホルダー・ペンシルバルーン・似顔絵・プラネタリウム無料投映等を行う。また、12月には「はばたきクリスマス会」を開催し、演劇・ゲームを行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令	児童福祉法						
		対象者	児童・保護者	事業期間	平成2年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		はばたき子どもまつり及びはばたきクリスマス会を実施し、児童の健全育成の場を提供することができた。		はばたき子どもまつり及びはばたきクリスマス会を実施し、児童の健全育成の場を提供することができた。		はばたき子どもまつり及びはばたきクリスマス会を実施し、児童の健全育成の場を提供することができた。 台風接近による警報が発令されたため、午後の行事は中止した。		はばたき子どもまつり及びはばたきクリスマス会を実施し、児童の健全育成の場を提供する。	
成果 (できたこと)		中央児童館の施設全体を利用して行事を実施できるように、催し物の配置・時間の検討と新たな催し物の追加を行った。							
課題 (できなかったこと)		館内でもっとも広い大集会室で開催する人形劇・マジック等の催し物への参加者が少ないため、来場者への周知方法を検討する必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
成果 指標		来館者数(人)		3,110	3,508	1,173	3,600	3,800	
指標									
他市との 比較検証		海賊船アドベンチャーや移動動物園など、他市ではあまり見られない規模の催しを行っている。							
C 事業 コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		758	753	663	800	合計	662,880 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	報償費	101,000 円	
		一般財源	758	753	663	800	需用費	65,230 円	
	職員人件費 ②		2,537	2,871	3,891	3,316	委託料	496,650 円	
	総事業費(①+②)		3,295	3,624	4,554	4,116			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			「はやぶさ」帰還カプセル特別公開事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					担当係	中央児童館	
3	2	4							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	平成23年5月で開館30周年を迎えた中央児童館の記念事業として開催し、子どもたちや市民に小惑星探査機「はやぶさ」の成し遂げた偉業のすばらしさを実感してもらい、併せて宇宙や未来に向けて夢と希望を育み、科学する心を培う。	主たる内容	○小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを展示 ○宇宙や「はやぶさ」に関するパネルや模型等を展示 ○ものづくり体験コーナー及び映像鑑賞コーナーを開設 ○川口淳一郎先生の講演会を開催					
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
		根拠法令	児童福祉法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成23年度 ~ 平成24年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		_____		開催期間 平成24年3月30日(金)~3月31日(土) カプセル観覧者数 5,330人 ・展示、ものづくり・体験、映像鑑賞、物販など4つの部門で20のコーナーを開設		開催期間 平成24年4月1日(日)~4月3日(火) カプセル観覧者数 10,302人 ・展示、ものづくり・体験、映像鑑賞、物販など4つの部門で20のコーナーを開設 ・4月1日(日)に川口氏講演会を開催		_____	
成果(できたこと)		カプセル見学者数15,632人、川口氏講演会入場者数1,348人。ものづくり・体験部門14,118人、映像鑑賞部門9,466人、応援メッセージ記入者459人、記念撮影コーナー5,200人、中央児童館「はやぶさ」帰還バージョン入場者1,599人で、各部門ともたいへん盛況であった。本物のカプセルや展示物を見ていただくことにより「はやぶさ」の偉業について多くの市民に感動を与えることができた。							
課題(できなかったこと)		・カプセル解説コーナーとカプセル展示コーナーを広くとるように配慮したため、結果としてパネル展示コーナーが狭くなり、観覧者であふれる場面があった。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
成果指標		カプセル観覧者数(人)		—	5,330	10,302	—	—	
成果指標		講演会入場者数(人)		—	—	1,348	—	—	
他市との比較検証		カプセル見学者数で比較すると、他市では1日当たり2,000人前後の入場者数のところが多いが、刈谷市は1日当たり3,100人以上の入場者があり多くの見学者で賑わい盛況であった。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		0	3,707	5,423	0	合計	5,423,204 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,423,204 円	
		一般財源	0	3,707	5,423	0			
	職員人件費②		0	8,614	4,952	0			
	総事業費(①+②)		0	12,321	10,375	0			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	中央児童館		
款	項	目					担当係	中央児童館		
3	2	5								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	交通児童遊園を安全かつ効率的に管理運営することにより、屋外型児童厚生施設として子どもたちに健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにする。				主たる内容	交通児童遊園の指定管理者として都市施設管理協会を指定し、施設の適正な管理運営を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画							
			根拠法令	児童福祉法						
		対象者	児童・保護者			事業期間	昭和50年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営する。		
成果 (できたこと)		児童に健全な遊び場を提供しその健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を、安全で効率的に管理運営することができた。								
課題 (できなかったこと)		利用料金が安く本格的な遊具が揃っているというマスコミの情報提供により、施設の受入能力以上に人が集中し混雑することがあった。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		交通児童遊園開園日数(日)			294	288	299	294	294	
成果指標		交通児童遊園乗物利用状況(人)			1,275,778	1,296,525	1,337,330	1,340,000	1,350,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		77,336	77,879	85,882	94,843	合計	85,882,216円		
	財源	特定財源	61,241	62,166	64,159	60,046	役務費	28,947円		
		一般財源	16,095	15,713	21,723	34,797	委託料	85,853,269円		
	職員人件費②		1,087	1,436	1,415	1,474				
	総事業費(①+②)		78,423	79,315	87,297	96,317				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
		24年度迄の累積事業費		0		交通児童遊園遊具使用料 行政財産目的外使用料				
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設整備事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	中央児童館	
款	項	目					担当係	中央児童館	
3	2	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	次世代育成・子育て支援						
		施策の内容	子どもの居場所づくり						
	目的	交通児童遊園は近隣市の中でも人気が高い施設であり利用者数も多いため、施設の消耗や劣化も早い。多くの利用者が常に安全かつ快適に楽しむことができるように施設を整備する。			主たる内容	交通児童遊園利用者の安全性・利便性の向上を図るため、必要に応じて老朽化した施設を整備・更新する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画						
			根拠法令	児童福祉法					
		対象者	児童・保護者		事業期間	昭和50年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		歩道橋排水工事、トイレ漏水修繕工事、ゴーカートコース補修工事、エアコン取替工事、壁面看板設置工事、管理入室改修工事を実施した。		交通児童遊園フェンスの取替工事、人工芝すべり台の人工芝張替工事、ドルフィンパラダイス塗装工事を実施した。		薬師川沿いのフェンス取替工事、人工芝すべり台(東エリア)の人工芝張替工事、案内看板の整備を実施した。		SL機関車階段付近の転落防止フェンス設置工事、旧歩道橋の塗装及びスロープ再舗装工事、ゴーカートコース補修工事、便所污水管の修繕を実施する。	
成果 (できたこと)		交通児童遊園の施設を必要に応じて整備・改修を進め、利用者の安全性・利便性の向上を図ることにより、利用者を増加させることができた。							
課題 (できなかったこと)		利用者の安全性・利便性を継続的に確保していくため、計画的に施設の修繕整備を進めていく必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標		交通児童遊園工事箇所数(箇所)			6	3	3	4	4
成果指標		交通児童遊園乗物利用者数(人)			1,275,778	1,296,525	1,337,330	1,340,000	1,350,000
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		2,989	4,512	3,087	4,250	合計	3,087,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,089,500円	
		一般財源	2,989	4,512	3,087	4,250	委託料	294,000円	
	職員人件費②		1,087	359	1,415	1,105	工事請負費	703,500円	
	総事業費(①+②)		4,076	4,871	4,502	5,355			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			備品等整備事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	中央児童館		
款	項	目					担当係	中央児童館		
3	2	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	次世代育成・子育て支援							
		施策の内容	子どもの居場所づくり							
	目的	交通児童遊園の遊具利用者の利便性の確保及び事務の効率化、園内の環境美化を図る。			主たる内容	交通児童遊園において必要な備品の更新・整備を図る。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画							
			根拠法令	児童福祉法						
		対象者	児童・保護者			事業期間	昭和50年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		小型遊具の更新1台、増設1台		該当事業なし		硬貨計数機の更新1台		小型硬貨両替機の更新1台 ダストボックスの追加購入1台		
成果 (できたこと)		施設の維持管理のために必要な備品を更新・整備することができた。								
課題 (できなかったこと)		備品の整備にあたっては、市民サービスを低下させない範囲で必要最小限の更新に努める必要がある。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		交通児童遊園備品購入数(点)			2	0	1	2	2	
成果指標		交通児童遊園乗物利用者数(人)			1,275,778	1,296,525	1,337,330	1,340,000	1,350,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位:千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	200	400	合計	199,500円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	備品購入費	199,500円		
		一般財源	0	0	200	400				
	職員人件費②		0	0	354	737				
	総事業費(①+②)		0	0	554	1,137				
	建設事業	全体事業費(単位:千円)			0	24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費			0							
26年度以降の事業費見込			0							